

## ■今月のPICKUP

## 人吉医療センター 消防訓練 実施



## ■REPORT

基幹型研修医として2年間お世話になりました  
臨床研修医 縫合勉強会開催  
熊本県医事功労者表彰  
教えて!!片瀨先生  
チーム紹介「養育支援チーム」発足!  
AYA week 2023

第108回INARS九州プロバイダーコース  
月間目標  
スタッフ紹介  
看護師1年目の集大成!  
新任紹介



# 人吉医療センター 消防訓練 実施



はしご車での救助活動訓練



4F から救助袋で避難



消火器の取扱指導



初期消火訓練



2月22日(水) 消防訓練を実施しました。今回は、夜間帯に本館4階にて出火したと想定し、初期消火から通報、避難誘導及び救助活動までの実動訓練を行いました。毎年訓練をしておりますが、今年は前回の気付きをもとに、院内に数ヶ所ある非常階段を「東階段」「西階段」から「青階段」「ピンク階段」などに色分けし、避難誘導時の誤認防止に一工夫加えました。改善策を取り入れ、無線機や消火設備の取扱いを再認識しながら、万が一に備えてスタッフ間の周知徹底を図りました。

医療福祉連携室 野々上 真一



横になった状態での搬送訓練



## 当院の 防災備蓄 について

災害によって電気、ガス、水道などのライフラインが寸断され、さらに交通手段が断絶されると病院食の提供継続が困難となります。BCP※の一環として当院では患者、職員用に約800名の3日分、食の備えを行っています。備蓄食の内容は、無洗米や冷凍食品、乾物、缶詰など通常の献立に組み込むローリングストックでの備蓄に加え、5年賞味期限の災害用食材の備蓄、使い捨て食器や水なども備蓄しています。

栄養管理室 中村 利枝

※ BCP…災害時における事業継続計画

## 基幹型研修医として2年間 お世話になりました

大学の部活の先輩の誘いで、学生の時に、当院で臨床実習を選択したことが始まりで、患者さんやご家族、スタッフ間のコミュニケーションが非常に豊かで、自然あふれる人吉での初期研修を決めました。

水害からの復興、コロナ禍、さらに研修医も少人数という状況ではありましたが、多くのことを経験した濃い2年間でした。各診療科の垣根が低く、病院全体でこの地域を支える意識を強く感じ、また診療科や部署にこだわらず、多くのスタッフとコミュニケーションをとることで、チーム医療を肌で学ぶことができました。

4月からは、熊本大学病院の消化器外科に入局します。人吉で学んだことを活かし、日々精進したいと思います。

各部署のスタッフの方々、愛甲産婦人科や吉田病院、沖永良部島 朝戸医院の皆様、大変お世話になりました。いつかまた一緒に働ける際にはどうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

初期臨床研修医 中島 凌

## 臨床研修医 縫合勉強会開催

3月7日、研修医を対象に今年度2回目の縫合勉強会を開催しました。今回は血管縫合、整形外科で行うプレート固定の縫合、アキレス腱縫合を行いました。研修医は外科系の指導医や上級医から丁寧な指導を受け、手技をマスターしようと真剣に取り組んでいました。

また、今回は当院で実習中の医学部の皆さんも参加され、「貴重な経験でした」と、とても喜んでいただきました。



繊細で正確な手技を  
先輩方がレクチャー

## 熊本県医事功労者表彰

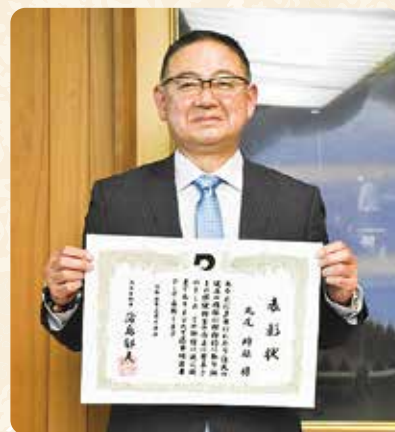
### ～長年の功績をたたえて～

当院の放射線技師 丸尾時雄さんが医事功労者として3月15日県知事表彰を受けました。

丸尾さんは昭和61年に人吉総合病院（現在の人吉医療センター）に勤務し、約40年にわたり地域医療に貢献されました。

3月末で当院は退職されますが、今後も地域の医院で技師を続けられるとのことです。今後のご活躍を祈念しております。

医療福祉連携室 宮原 由佳



### 丸尾さんコメント

この度は、身に余る素晴らしい賞をいただき、光栄に思いますとともに、身の引き締まる思いがしております。このような賞をいただけたのも、推薦して下さった熊本県放射線技師会の諸先輩方のお力添えによるものと感謝いたします。賞に値する十分な社会貢献ができたとは思えませんが、この賞を励みに微力ではありますが、地域の保健衛生の向上に一層貢献してまいります。



ユーミンの名曲『卒業写真』の切ないメロディーにのって「あの頃の生き方をあなたは忘れないで」と歌われた「あの頃」と「あなた」が思い出される3月です。

15年前の3月、多良木町の保健師さんからのご要望で多良木中学校で授業をしました。その時のタイトルは、「産婦人科、子宮、妊娠、そして癌、そんなの私たちに関係ない?—自分が生きていることを奇蹟だと考えたことがありますか」。それ以来、百校を超える中学・高校を訪れ、2021年には相良中学校、2022年には人吉高校と芦北高校でいずれも2度目の授業を担当しました。

### 沢山の生徒さん達からのメッセージの中から、中学生の感想の一部を紹介します。

- 男性と女性の違いは、母親は血や涙を流しながら我が子を産むのに必死なのに、男性は何もできないから無力だと感じました。(中1)
- 僕の一番印象に残ったのは、子宮の大きさは二ワトリの卵くらいだったことです。(中2)
- 赤ちゃんは1,000人のうち600人が生まれてきて、残りの400人は流産や死産で生まれてこないことを知ってびっくりしました。(中2)
- 今の自分が友達と勉強したり遊んだりしているのは決してあたりまえじゃないということを学びました。(中2)
- 子宮や妊娠のことは男子に関係ないことだと思っていましたが、その思い込みが間違った理解の仕方だと気づくことができました。(中2)
- LGBT等への理解を深め、性についての正しい知識を持ち、生きている奇蹟に感謝しながら生きていき、命をつないでいきたいです。(中2)
- 私は将来、赤ちゃんの命に携わる仕事に就くのが夢なので、その夢を諦めずに頑張ろうと思いました。(中2)
- 正しい知識を正しく理解し、守りたい人を守るのに必要な術を僕は心に刻みました。(中3)
- 大人になっていくにつれ女性とのかかわりも増えると思うので、今日学んだことを忘れないようにしていきたいと思いました。(中3)
- 私が生まれてこられたのも親のおかげだし、じいちゃん、ばあちゃんのおかげでもあるし、病院の先生のおかげで僕は生まれてきたので、感謝して、困った時の壁を乗り越えたいです。(中3)
- 1つの命が誕生するのに、たくさんの奇蹟が重なっているということを入れた、親がくれたこの命に感謝をして生きていきたいと思いました。(中3)

### 高校生の生徒さん達からの質問への答えも紹介します。

#### Q1. 双子はどうやってできて、どうやって生まれますか。

自然に双子ができる可能性は、日本人では120分の1と言われていますが、不妊治療によってその可能性は大きくなります。双子では妊娠中や分娩の際に母体への負担が大きくなり、いろいろな危険性が増えるため、最近では帝王切開による分娩が選ばれています。

#### Q2. 性交渉をしていなくても性感染症にかかると聞きました。将来結婚して、旦那さんとの性交渉前に性感染症の検査に行ったほうが良いのでしょうか。

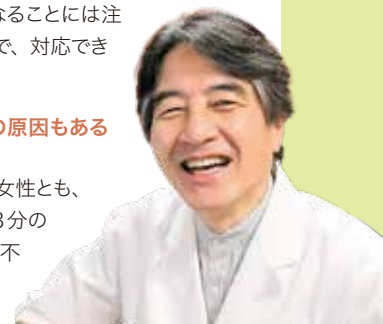
口や手、性器や肛門などを使った直接の接触がなければ、性感染症の危険はありません。このような接触がない場合は、産婦人科での性感染症の検査を受ける必要はありません。大切なパートナーと互いのリスクについて話ができるかが大切です。

#### Q3. 生理中でもプールに入って大丈夫でしょうか。

生理中に運動をしてはいけない理由は基本的にありませんが、プールで体が冷えたり、出血が多く貧血になることには注意が必要です。血液が流れ出ることもあるので、対応できるようにしておきましょう。

#### Q4. 不妊症は女の人だけではなく男の人の原因もあるというのは本当ですか。

不妊症の原因となるのは、男性、女性、男性・女性とも、の3つのパターンがあり、それぞれがおよそ3分の1ずつの割合になります。男性の精液検査は不妊症の検査の一つです。



## 「養育支援チーム」発足!

児童が心身共に健やかに生まれ、且つ育成されるよう生活の保護、愛護を受けることができるために…

当院では2022年から「不適切な養育等が疑われる小児患者(15歳未満)」に対する支援体制として**養育支援チーム**を立ち上げました。迅速かつ適切な対応が行われるよう、医師、看護師、社会福祉士、その他必要に応じた多職種で構成する専任のチームです。

虐待等が疑われた場合の初期対応に関するマニュアルはありますが、入院後のフォローや行政や関係機関との連携について、明確なものはありませんでした。今回、**多職種が協働することで、より密で多方面の支援が期待できます。**

今後は、対象児に対する支援・連携体制の強化を図ると共に、研修会なども行いながら、よりよい支援に繋げていきたいと考えています。



医療福祉連携室 宮原 由佳

### 療育支援体制

不適切な養育が疑われる児童の診療に携わる医療従事者



養育支援チーム

福祉・保健・警察・司法・教育等



公式 HP



Tik Tok

AYA世代という言葉をご存知でしょうか。AYAは Adolescent and Young adult (思春期・若年成人) の頭文字をとったもので、主に思春期(15歳〜)から30歳代までの世代を指します。この世代は、進学、就職、恋愛、結婚・出産など人生の中で多くの変化を体験する年代であり、自分の中の価値観が大きく変わり、新たな出会いとともに、未来の選択肢が広がる時期ともいわれています。このような時期にがん



と診断されると、心身にさまざまな影響を受ける事があります。成人に比べて情報が少なく、見つける事が難しいともいわれています。

日本では、毎年約2万人のAYA世代が、がんを発症すると推定

されており、その罹患率は1年間で100人中約2人。「がん」という病気をかかえ、将来に対する不安や孤独を感じている人も少なくなく、周囲の方を悲しませたくない、心配をかけたくない、自分の弱さをみられたくないという思いから、ひとりで悩みや不安を抱えこんでしまう方が多く、治療以外のことを誰に相談して良いかわからずにおられます。

AYA week 2023 では「知ろう、一緒に。」のスローガンのもと、2023年3月は全国で様々なイベントが開催されました。当院でもフラッグを作成し活動に参加させていただきました。当院は熊本大学病院などと連携したAYA世代のサポート支援を行っています。AYA世代の患者さんのニーズを課題ごとに整理し、解決に向けて多職種で一緒に向き合いたいと思っております。当院の相談支援センターをご活用ください。

医療福祉連携室 杉松 紗織

## 第108回INARS九州プロバイダーコース

宮崎県立宮崎病院

INARSとは「心停止を回避する」ため、A B C D E への評価・認識・行動を行い、二次評価、三次評価、医師への報告までを半日で学習できるコースです。今回も看護師1年目の方から HCU・E・R で勤務されている方も受講され幅広い世代・領域で活かせる内容ではないかと考えています。

昨年11月に当院で開催されたWS(インストラクター)コースを受講し、今回初めてインストラクターとして参加しました。これまで先輩インストラクターの指導方法を何回も見てきましたが、実際にやってみると受講生の考えを引き出すような声かけが非常に難しかったです。

今後も先輩方の様々なインストラクションから学び、自己の伝える能力を高め、言葉だけでなく立ち位置や物品の位置など環境にも配慮できる指導を目指します。また、当院の新人教育やプロバイダーコースに参加し、アセスメント方法の一つとしてINARSの有効性を理解し、活用してもらえよう貢献していきたいと思ひます。

7階病棟 岡原 尚己



## JCHO 人吉医療センター 月間目標報告

### 12月 新年に向かって5S活動をしよう!

各部が具体的な5S活動の目標を立て取り組みました。取組で得られた回答には、①清掃分担表を作成し活動した、新年からその分担表を基に1年間活動していく ②在庫数の見直しを行い整理した ③不要物の廃棄、棚の整頓を行い、物の定位置を見直したなどが挙げられました。その活動結果により気持ちの変化がうかがえ、「整頓により精神的にも、何か余裕を感じる」「業務がしやすくなった、気分がよくなった」とうれしい結果が見られました。

### 1月 自分から率先して気持ちよいあいさつをしましょう!

1月の目標は、当院へのクレームがあったことから策定に至りました。各部での取り組みは、①職員間ではもちろんのこと、患者・家族など来院者へは状況に応じた挨拶を必ず行うことや少なくともすべての方に会釈を行う ②部署内でも互いに挨拶の様子を観察し皆が実践できるように必要時は声掛けを行う などの対策を行い、その結果、概ね実践できたとの回答が多くみられました。

### 2月 省エネルギー1月間でコスト削減に努めましょう

各部の目標では、室内灯や床頭ライトの消灯、エアコンの温度管理、PCシャットダウン、ペーパーレス化、早期帰宅などが挙げられ、結果は実行したとの回答が多くありました。また、「スタッフ一人一人の意識が低い、意識付けを行うために省エネ月間を設けることは今後も効果があると考えた」と素敵な回答がありました。ここで、2月の電気使用量のフィードバックをします。なんと、過去5年間において一番少ない使用量でした!!引き続きよろしくお祈ひします。



リハビリテーションセンター  
理学療法士もりした こうせい  
森下 耕靖

## 患者さんの目標達成を支えるパートナーに

現在当院へ入職し7年目となる森下さん。  
今回、心電図検定1級と心不全療養指導士の試験に見事合格！  
心筋梗塞後の運動負荷検査等で心電図を見る場面が多くあるため、今後の患者サポートで学んだ知識を活かしたいとの思いでチャレンジし、資格取得されましたのでご紹介いたします。

## off shot!



生まれたばかりの  
子どもさんを抱く森下さん。  
毎日癒やされているそうです。  
おめでとうございます！

## 看護師一年目の 集大成！

新人看護師、1年目の学びの集大成として、ナラティブアプローチに基づく事例を発表しました。ナラティブアプローチとは、自らの看護を言語化し語ることで、その時の実践場面を追体験し、客観的に見つめなおし新たな発見や気づきができる、課題解決に導く手法です。対話を通して得られた具体的な気づき(ナラティブ:物語)の中から、一部を抜粋してご紹介いたします。

私はこの事例を通し、日々の業務に追われる中、自分の業務効率を優先していたことに気がつきました。看護師は、患者の立場に立って物事を考えること、患者の言動にはどんな背景や思いがあるのかを知ろうと歩み寄ることが、「患者の心の声をきく」という看護につながるのだと再認識しました。看護師人生はまだまだこれからですが、何年たっても原点に戻り、「仕事」ではなく「看護」ができる看護師でありたいと思います。



5階病棟 副島 菜々夏

発表者のナラティブを聞き、1年目の成長を仲間や先輩と共に味わった感想をご紹介します。

### 1年目看護師

入職当時は失敗の連続で続けられるか不安だったが、先輩からの指導や同期の励ましもあり、1年間やり遂げることができた。修了証書をいただいた際は、達成感と共に後輩ができる不安もあるが、これまでの学んだ事を教えられような先輩になりたいと思う。

9階病棟 緒方 愛子

### 1年目看護師

手術室に配属となり1年が経ちました。様々な術式や特殊体位など、まだまだ分からないことも沢山あり、毎日が学習です。患者様に安全な手術看護が提供できるよう、積極的に学ぶ姿勢を忘れず、精進していきたいです。

手術室 橘 優衣

### 先輩看護師

コロナ禍でゆっくりすることができない環境で、理想の看護師像とのギャップに戸惑い、不安も大きかったと思います。

その中で、患者さんの何気ない発言や表情を読み取り、先輩に相談しながら良い看護ができており、成長を感じ思わず涙があふれてきました。また、私自身が経験した患者さんを思い出し、看護の難しさ、すばらしさを感じることができました。

4月からは2年目看護師ですね。仲間と助け合いながら自分の力を発揮し、頑張っていきたいと思います。

5階西病棟 税所 ひとみ

## 新任紹介

森永 とみえ  
(薬剤部・療養介助員)

趣味：動画鑑賞。ダンス動画を見るのが好きです  
好きなこと：散歩しているかわいい犬を見ることがうれしいです  
自分の性格：人見知り

### 理念

140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

### 基本方針

患者中心の医療

患者の人権と意思を尊重します

診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成

地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

### 臨床研修理念

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的役割を認識しつつ、臨床に必要な基本的診療能力を習得し、全人医療を提供できる医師を目指します。

### 臨床研修の 基本方針

1. 人間性豊かな医療人の育成
2. 医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人の育成
3. 患者の立場に立った医療を実践する医療人の育成
4. チーム医療のできる医療人の育成

5. 生涯学習をする医療人の育成
6. 地域医療に貢献する医療人の育成
7. 公的中核病院としての責務を自覚する医療人の育成

